

# 人は楽しむために生まれてきた



園児・保護者・保育士が一体となった河内音頭グランプリです。寝ている子を抱っこ、肩にかかっている保護者も一生懸命です。



こどもの部伝統部門

**たまごビル**  
院長 石垣 邦彦

〒581-0061  
大阪府八尾市春日町1-4-4  
電話072 (991) 3398  
FAX072 (991) 4498  
ホームページアドレス  
http://www.tamagob.com/

## 日本国民への提言 ⑤

日本の国民一人ひとりが、自らの「からだ」の「しくみ」を生かすことで、日本を再生する

### たまご理論で病気のしくみを考える

今日は、平成28年11月5日号の本紙で紹介したたまご理論の経緯を再度端的にお話しし、次へのステップを目指してゆきたいと思えます。

「たまご理論」にも「上腹部のやわらかさ」を世界人類に普及することを目的として、日本を再生する。

EBM根拠にも「医療の最も信頼性」をリードする「からだ」の「しくみ」の提言を「ランダム化比較試験」で疫学的に統計データに、なせおこななければならないのか。

「からだ」の「しくみ」の基本(図1) ※「健康体」とは、生命40億年の「からだ」のしくみがスムーズに「はたらく」状態である。

「健康体の特徴」には、「上腹部のやわらかさ」がある。 ※「健康体」が分かっていないこと。 ※ある要素が「変化」したとき、人間の「からだ」にどのような「変化」がおきるのかを特定することができないこと。

# 八尾河内音頭まつりでグランプリ受賞

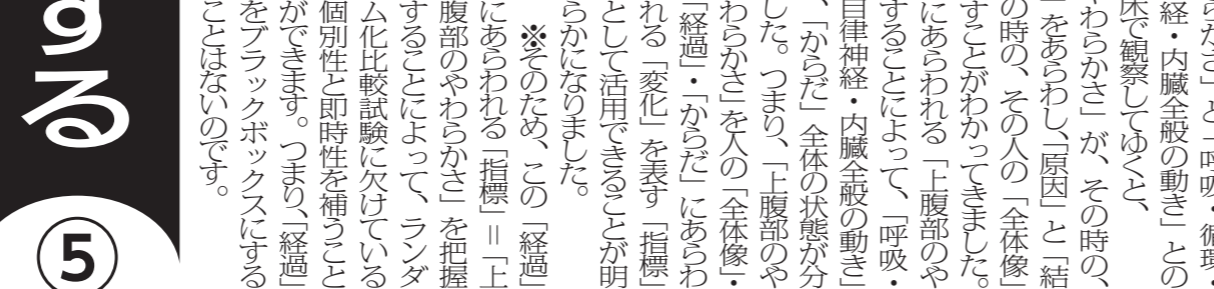
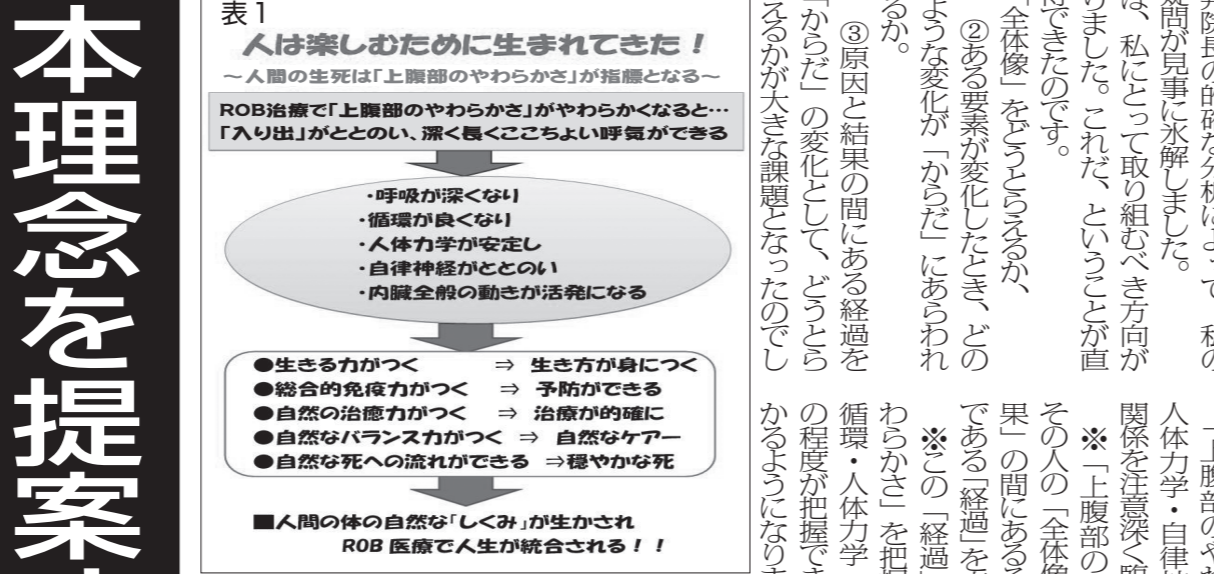
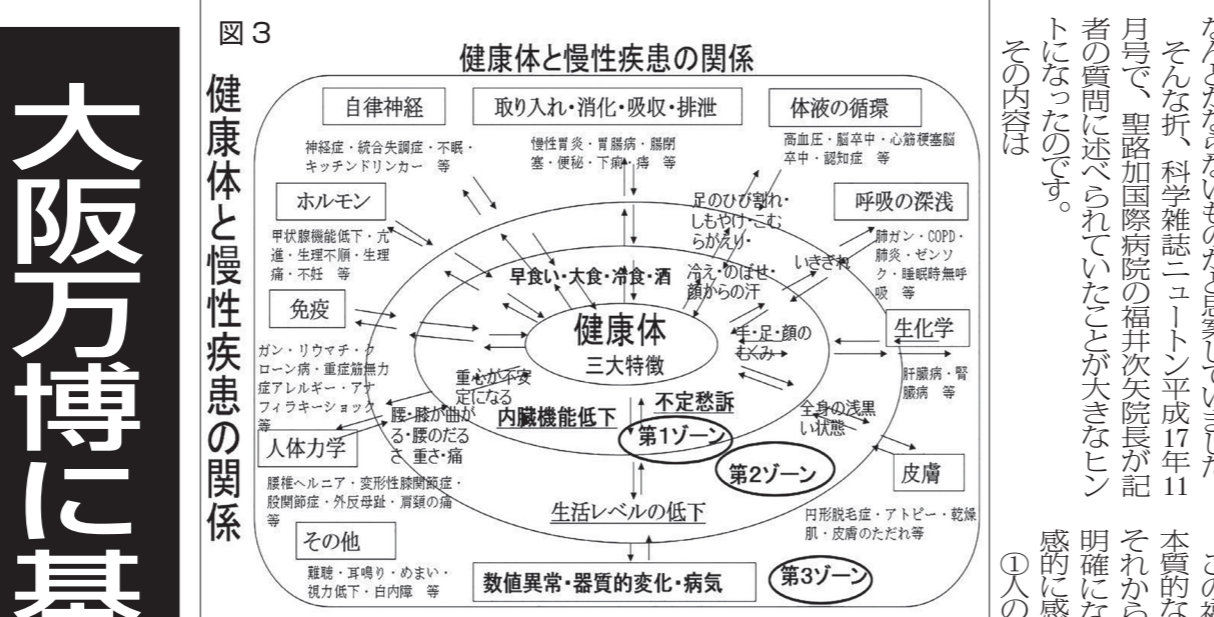
なにかを「楽しむ」のかと思案してました。そんな折、科学雑誌「ニュートン」平成17年11月号で、聖路加国際病院の福井次院長が記者の質問に述べられていたことが大きなヒントになったのです。

この福井院長の的確な分析によって、私の本質的な疑問が解明されました。それからは、私にとって取り組むべき方向が明確になりました。これだ、というものが直感的に感得できたのです。

「上腹部のやわらかさ」と「呼吸・循環・人体力学・自律神経・内臓全般の動き」との関係に注意深く臨床で観察してゆくと、

「からだ」の「しくみ」がスムーズに「はたらく」状態である「健康体」が「上腹部のやわらかさ」が「呼吸・循環・自律神経・内臓全般の動き」が「健康体」の三大特徴である。

# たまご保育園



「からだ」の「しくみ」がスムーズに「はたらく」状態である「健康体」が「上腹部のやわらかさ」が「呼吸・循環・自律神経・内臓全般の動き」が「健康体」の三大特徴である。

「からだ」の「しくみ」がスムーズに「はたらく」状態である「健康体」が「上腹部のやわらかさ」が「呼吸・循環・自律神経・内臓全般の動き」が「健康体」の三大特徴である。

### たまご保育園園児の心得

- ①正しい生活習慣を身につけて元気な子どもになります。
  - ②人に、物に、全手の環境に感謝できる子どもになります。
  - ③自らの考えを持ち、自らを表現できる子どもになります。
- たまご保育園の園児である私たちは自らの「からだ」と「こころ」をととのえ、家庭・地域・日本・地球環境に貢献してゆきます。この大きな目標をもって日々の生活に精進してゆきます。

## 大阪万博に基本理念を提案する

「からだ」の「しくみ」がスムーズに「はたらく」状態である「健康体」が「上腹部のやわらかさ」が「呼吸・循環・自律神経・人体力学・内臓全般の動き」が「健康体」の三大特徴である。

「からだ」の「しくみ」がスムーズに「はたらく」状態である「健康体」が「上腹部のやわらかさ」が「呼吸・循環・自律神経・人体力学・内臓全般の動き」が「健康体」の三大特徴である。